

卒業認定に関する方針

北海道立紋別高等看護学院

【旧カリキュラム】

1 卒業時の特性

- (1) 人間は認識を持つ有機体で社会関係の中で作りつくられる諸過程の統一体であり、多様なあり方をもつ存在として理解する。
- (2) 人間の健康と生活を環境との相互作用の観点から理解する。
- (3) 対象特性を把握し、三重の関心を注ぎながらその人にあった看護ができる能力と、自己の看護実践を看護の本質に照らして評価し発展させる能力を養う。
- (4) 生命倫理と看護倫理に基づき専門職業人として自覚と責任をもち、看護者として自己を成長させるための学習を継続できる基盤を養う。
- (5) 人々の健康の向上をはかるため、看護の専門職として他の職種と協働していく能力を養う。

2 卒業認定に必要な修得単位 学則別表に規定する 99 単位

【新カリキュラム】

1 ディプロマポリシー

(1) 生活者としての人間を理解する力

人間は認識をもつ有機体で社会関係のなかで作りつくられる諸過程の統一体であり、多様なあり方をもつ生活者としての看護の対象を理解できる能力を身につけている。

(2) 他者を尊重し良好な人間関係を築く力

人間理解を基盤とし周囲の人と積極的に関わりお互いに尊重しあい良好な人間関係を築くことができる態度を身につけている。

(3) 根拠に基づき看護を考え実践する力

対象特性を把握し、科学的根拠に基づきその人にあった看護を実践できる能力を身につけている。

(4) 多職種と連携・協働する力

人々の健康の向上をはかるため、看護専門職として保健医療福祉チームの多職種と連携できる能力を身につけている。

(5) 看護専門職として成長し続ける力

看護倫理に基づき専門職業人として自覚と責任を持ち、社会の変化に対応できる看護職として主体的に学習できる。

2 卒業認定に必要な修得単位 学則別表に規定する 104 単位

【新・旧カリキュラム共通】

3 卒業認定の手順

- (1) 各授業科目の評価は、講義担当者が筆記試験、レポート評価、実技評価、実習評価などにより行う。
- (2) 毎年、年度末（3月）の単位認定会議において、単位を認定する授業科目の出席時間数が出席すべき時間の3分の2以上、成績評点60点以上（評定C以上）であることを確認し、単位を認定する。
- (3) 卒業年度（2月）の卒業認定会議において、卒業年度の単位の認定と卒業に必要な単位の修得状況を確認し、卒業認定を行う。